

資料目次

資料 1	「学則（案）」－抜すいー
資料 2	3つのポリシー（外国語学部国際日本学科）
資料 3	「養成する人材像と3つのポリシーとの相関」
資料 4	「履修規程（案）」－抜すいー
資料 5	国際日本学科の学生が留学可能な主なプログラム
資料 6	教育課程概念図
資料 7	カリキュラムマップ
資料 8	教育課程構成図
資料 9	履修モデル
資料 1 0	2022 年度企業実習受入先一覧
資料 1 1	日本語教育実践実習に関する覚書
資料 1 2	学校法人関西外国語大学 職員就業規則（抜粋）
資料 1 3	学校法人関西外国語大学 再採用教員内規（抜粋）
資料 1 4	本学部関連所蔵図書資料
資料 1 5	管理運営機構図
資料 1 6	法人・大学事務組織機構図
資料 1 7	学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図
資料 1 8	学校法人関西外国語大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程
資料 1 9	学校法人関西外国語大学スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会規程

関西外国語大学学則（案） 【抜すい】

第 2 章 学部、学科等

（略）

（教育上の目的等）

第 15 条 各学部、学科等の人材養成目的等は次の各項のとおり定める。

（略）

3 外国語学部

本学部は、高度で実践的な言語運用能力の構築を行うのみならず、諸外国・地域に関する知識、言語・文化・歴史・宗教等を異にする人々との共生を志向する国際感覚、豊かな専門知識と幅広い視野を兼ね備えた人材の育成を目的とする。

- | | | |
|------------------------|---|-----|
| (1) 英米語学科 | } | (略) |
| (2) スペイン語学科 | | |
| (3) 英語・デジタルコミュニケーション学科 | | |
| (4) 国際日本語学科 | | |

本学科は、高度で実践的な英語運用能力を獲得したうえ、日本語・日本語教育および日本文化・社会に関する専門知識、ならびに豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を併せ持ち、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目的とする。

（以下、略）

3つのポリシー（外国語学部国際日本学科）

建学の理念	「公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応じていく実学」の教授研究を通して、「国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材」を育成します。
大学の教育理念・方針	・言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実践的な言語教育を行います。 ・他国の言語・文化を修得・理解するレベルにとどまらず、日本語・日本文化の礎を踏まえ、自らの考えを自由に発信できる、より高度で創造的なレベルでの言語運用能力の修得をめざします。 ・言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な「国際学」「外国学」に関する国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。
学部・学科の教育研究上の目的 （人材養成の目的）	（外国語学部） 高度で実践的な言語運用能力の構築を行うのみならず、諸外国・地域に関する知識、言語・文化・歴史・宗教等を異にする人々との共生を志向する国際感覚、豊かな専門知識と幅広い視野を兼ね備えた人材の育成を目的とします。 （国際日本学科） 高度で実践的な英語運用能力を獲得したうえ、日本語・日本語教育および日本文化・社会に関する専門知識、ならびに豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を併せ持ち、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目的とします。 （1）国内での企業や地域コミュニティにおいて、外国人との共生を促進するために、高度な英語運用能力と日本語・日本語教育および日本文化・社会の知識に根ざした豊かな国際感覚を兼ね備えた人材 （2）外国人に日本語を教えるために、高度な英語運用能力と日本語・日本語教育の専門的な知識と実践力を兼ね備えた人材 （3）日本の伝統文化や現代文化等を国内外の外国人に伝え広めるために、高度な英語運用能力と日本の文化・社会について深い知識と発信力を兼ね備えた人材
卒業認定・学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）	本学科に4年以上在学し、所定の卒業要件124単位を修得した者は、次に掲げる知識・能力などを身につけたものと判断し、「学士（国際日本）」の学位を授与します。 （1）英語・日本語および言語学に関する教育を通して、思考力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力など、国際社会に貢献できるレベルの言語運用能力を身につけている。《知識・理解/汎用的技能》 （2）日本および諸外国の文化・社会・歴史等に関する深い知識を身につけている。《知識・理解》 （3）日本の文化・社会・言語に関する教育を通して、日本文化の価値ある情報を発信できる能力を身につけている。《知識・理解/汎用的技能》 （4）多様な文化的背景を持つ学生等との交流や海外留学等を通して、異文化理解力、高度な国際感覚を身につけている。《汎用的技能/態度・志向性/総合的な学習経験と創造的思考力》
教育課程の編成・実施の方針 （カリキュラム・ポリシー）	〔教育課程の編成にかかる基本方針〕 本学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力などを修得できるように、教育課程を専門教育科目と全学共通教育科目に区分し、基礎から発展、完成へと卒業まで順次的・体系的に編成し、学修・教育、評価を行います。 1. 教育内容について （1）専門必修科目では、英語の4技能を伸ばし、専門分野の英語文献を正確に理解し、英語による表現力の向上をめざします。併せて、日本の文化・社会および日本語に関する知識の深化を促します。 （2）専門選択科目では、日本および諸外国・地域の文化・社会・歴史等に関する知識の深化を促すとともに、異文化理解力、柔軟な国際感覚、英語および日本語による情報収集力・発信力の獲得をめざします。 （3）全学共通教育科目では、幅広い教養を獲得するとともに、キャリア意識の形成を促します。 2. 教育方法について （1）専門必修科目では、学修コーディネーションコミッティの下、Content-Based Instruction（内容重視の教授法）を用いた英語学修を行います。 （2）専門必修科目の英語関連科目では、外部試験による客観的な指標により少人数クラス編成を行い、各自のレベルに応じた英語学修を行います。 （3）専門必修科目の「国際日本基礎演習」では、基幹となる「日本学」を理解するために、日本語学、日本の文化・社会について少人数教育にて学修します。 （4）専門選択科目の日本の文化・社会、異文化理解力を深める科目では、主体的に学ぶ力を高めるために、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどの教育方法を活用したアクティブラーニング型授業を展開します。 （5）専門選択科目の日本語・日本語教育関連科目では、高度な専門知識の学修の上で、日本語教育実習を展開します。 （6）クラスアドバイザー制により、順次的・体系的に学修が行えるように支援ならびに指導を行います。 （7）留学先大学での学修を通して、幅広い知識と柔軟な国際感覚の修得のため、本学独自の多彩なプログラムによる海外提携校への留学を促します。 3. 学修成果の評価について （1）学修成果の評価は、単位修得の確認などにより行います。 （2）単位修得科目、留学、就業体験、異文化理解等のためのボランティアの体験、外部試験の成績、およびクラスアドバイザーによる面談記録などの学修ポートフォリオにもとづき、4年間の学修成果をディプロマ・ポリシーに照らし総合的に評価します。 （3）長期留学にかかる英語力については、TOEFLなどの英語外部試験の客観的な指標を設け、学修成果を検証します。

3つのポリシー(外国語学部国際日本学科)

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

本学科の教育上の目的に定める人材を育成するために、ディプロマシー・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「求める人材像」を次のように定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

1. 求める人材像について

高等学校までの学習・活動を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、

- (1) 基礎的な知識・技能や目的意識・意欲のある人
- (2) 実践的な英語運用能力の向上を図るとともに、日本の文化・社会および日本語・日本語教育に対する知的探求心や発想力を養い、グローバル社会において柔軟な国際感覚を身につけようとする積極的な姿勢や情熱を持つ人
- (3) 日本の文化・社会および日本語・日本語教育に関して積極的に学び、理解して、国内外の留学生、外国人就労者や外国人児童に対して、積極的に日本語による支援ができ、グローバル社会で活躍できるキャリア形成をめざす強い意志を持つ人

2. 評価方法について

上記のような学生を選抜するため、形態ごとに以下のような試験を行い、本学科で学修するための基盤となる学力などについて 評価します。

(1) 一般選抜

ア. 一般入試

① 1科目型:

- ・ 個別学力検査(外国語)により評価します。また、本学の教育プログラムや海外留学で求められる語学力と思考力・判断力を備えた入学者を選抜する入試については、英語の資格・検定試験を活用するなど、多面的・総合的に評価します。[前期: S方式]
- ・ 個別学力検査(外国語)により評価します。[後期]

② 2科目型:

個別学力検査(外国語、国語)により評価します。[前期: A方式]

③ 3科目型:

個別学力検査(外国語)と大学入学共通テスト(国語、選択科目)により評価します。[前期: 共通テストプラス方式]

イ. 大学入学共通テスト利用入試

① 3科目型: 大学入学共通テスト(英語、国語、選択科目の3科目)の得点により評価します。[前期/後期]

② 5科目型: 大学入学共通テスト(英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の5科目)の得点により評価します。[前期]

(2) 学校推薦型選抜

ア. 公募制推薦入試

基礎学力検査として英語を課し、調査書等、学校長推薦書を総合して評価します。

イ. 指定校制推薦入試

書類選考、口頭試問(面接)を総合して評価します。

(3) 特別型選抜

ア. 社会人入試

書類選考、筆記試験(英語、小論文)、口頭試問(面接)を総合して評価します。

イ. 帰国生徒入試

筆記試験(英語、小論文)、口頭試問(面接)を総合して評価します。

「養成する人材像」とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーなどの相関・整合性



外国語学部国際日本学科
履 修 規 程（案） 【抜すい】

第 1 章 総 則

（趣旨）

第 1 条 この規程（以下「本規程」という）は、関西外国語大学学則（以下「学則」という）にもとづき、入学から卒業までの授業科目（以下「科目」という）の履修登録、受講、単位修得方法等に関し必要な事項を定める。

（略）

第 2 章 単位の修得

（略）

（卒業要件）

第 5 条 卒業に必要な総単位数は 124 単位とし、卒業要件および卒業要件単位は、表 2 に定める。

表 2 卒業要件単位

区分		各学年単位数				合計
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
卒業要件 1	専門必修科目	20	16	8		44
卒業要件 2	専門選択科目	56				56
卒業要件 3	全学共通教育科目	24				24
卒業所要単位数						124

- 2 卒業要件 3 として認められる単位には、卒業要件 2 で定める卒業所要単位 56 単位を超えて修得した単位のうち、8 単位を限度として算入することができる。

（言語運用能力）

第 6 条 卒業所要単位 124 単位とは別に、表 3 に定める言語運用能力にかかる目標を達成するよう努めなければならない。

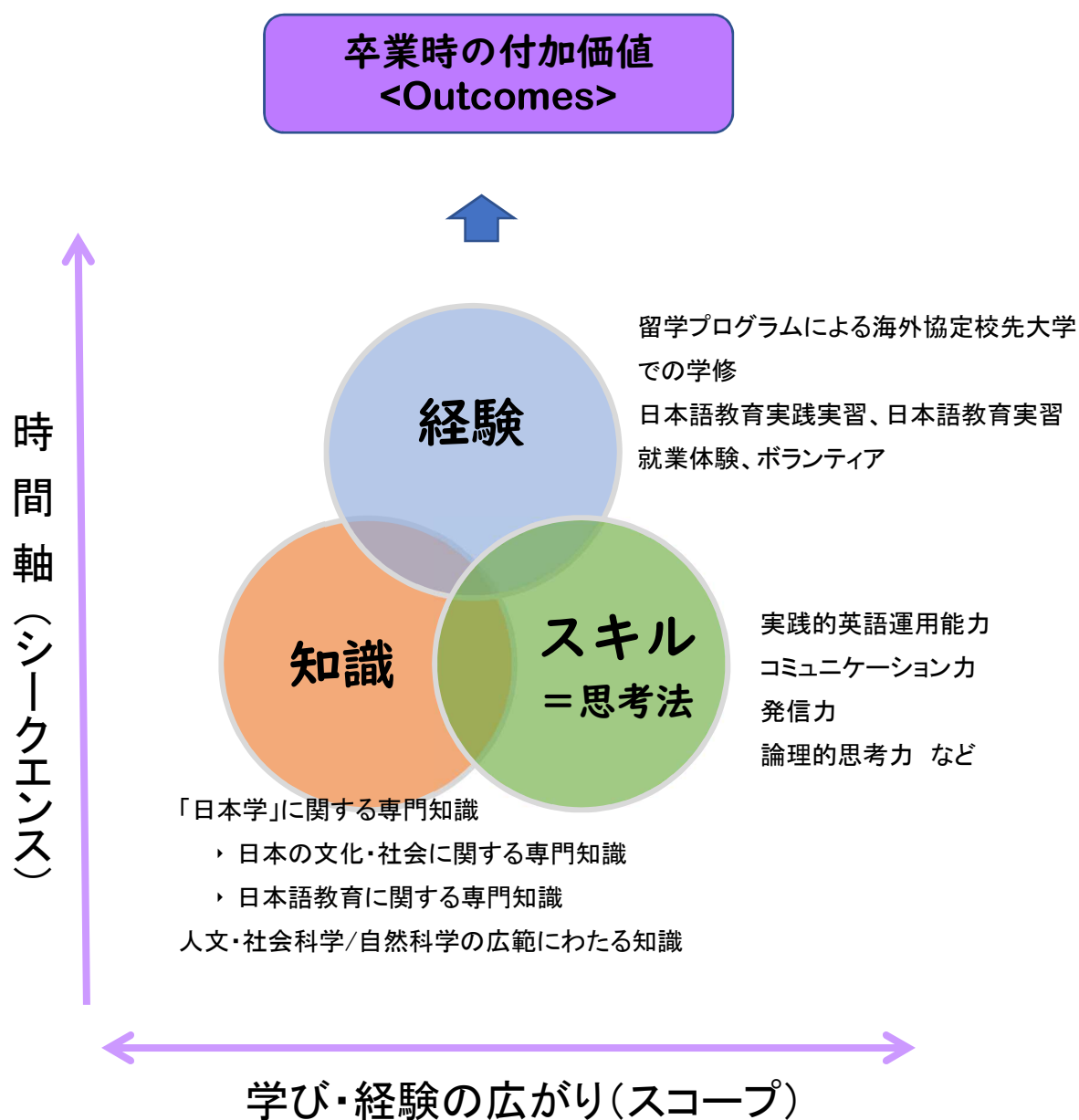
表 3 学年別達成目標

年次	TOEFL	TOEIC
1 年次終了時	480 点（iBT 54 点）以上	560 点以上
2 年次終了時	500 点（iBT 61 点）以上	615 点以上
3 年次終了時	523 点（iBT 70 点）以上	650 点以上
4 年次終了時	550 点（iBT 80 点）以上	730 点以上

国際日本学科の学生が留学可能な主なプログラム

種別	プログラム名	概要	期間
長期 留学	大学・大学院学位留学	5年半で本学の学士号と、アメリカ・ニューヨーク州立大学オルバニー校の学士号および修士号の計3つの学位の取得をめざす。 (学部3年次の秋学期から留学を開始し、2年間で学士号を取得、引き続き同大学の大学院に進学し、1年間で修士号の取得をめざす。)	3年間
	ダブル・ディグリー留学	本学の学士号と留学先大学の学士号の両方の学位の取得をめざす。 (留学先大学では、学士号取得に必要な学士課程レベルの授業を履修)	2年間
	リベラルアーツ留学	留学先大学では、本学の教育課程に沿った分野の中で、学生の興味に沿った学修を通して、教養などを深める。	1年間
	英語＆リベラルアーツ留学	1学期目に留学先大学附属のESL (English as a Second Language) で英語を集中的に学び大学入学基準まで英語力を引き上げ、2学期目は本学の教育課程に沿った分野の中で、学生の興味に沿った学修を通して、教養などを深める。	1年間
	日本語インターン留学	日本語教員のアシスタントとしてのキャリアを積みながら、より高度な語学力や教養を身につける。	1～2年間
短期 留学	語学留学	夏期および春期の休暇中、および秋学期と春学期に語学力向上をめざす。(英語、スペイン語、中国語など)	4週間から 1学期間

【国際日本学科の教育課程概念図】



国際日本学科 カリキュラムマップ

【教育研究上の目的】（人材養成の目的）

高度で実践的な英語運用能力を獲得したうえ、日本語・日本語教育および日本文化・社会に関する専門知識ならびに豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を併せ持ち、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目的とします。

【ディプロマ・ポリシー】

ODP1：英語・日本語および言語学に関する教育を通して、思考力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力など、国際社会に貢献できるレベルの言語運用能力を身につけている。（知識・理解/汎用的技能）

ODP2：日本および諸外国の文化・社会・歴史等に関する深い知識を身につけている。（知識・理解）

ODP3：日本の文化・社会・言語に関する教育を通して、日本文化の価値ある情報を発信できる能力を身につけている。（知識・理解/汎用的技能）

ODP4：多様な文化的背景を持つ学生等との交流や海外留学等を通して、異文化理解力、高度な国際感覚を身につけている。（汎用的技能/態度・志向性/総合的な学習経験と創造的思考力）

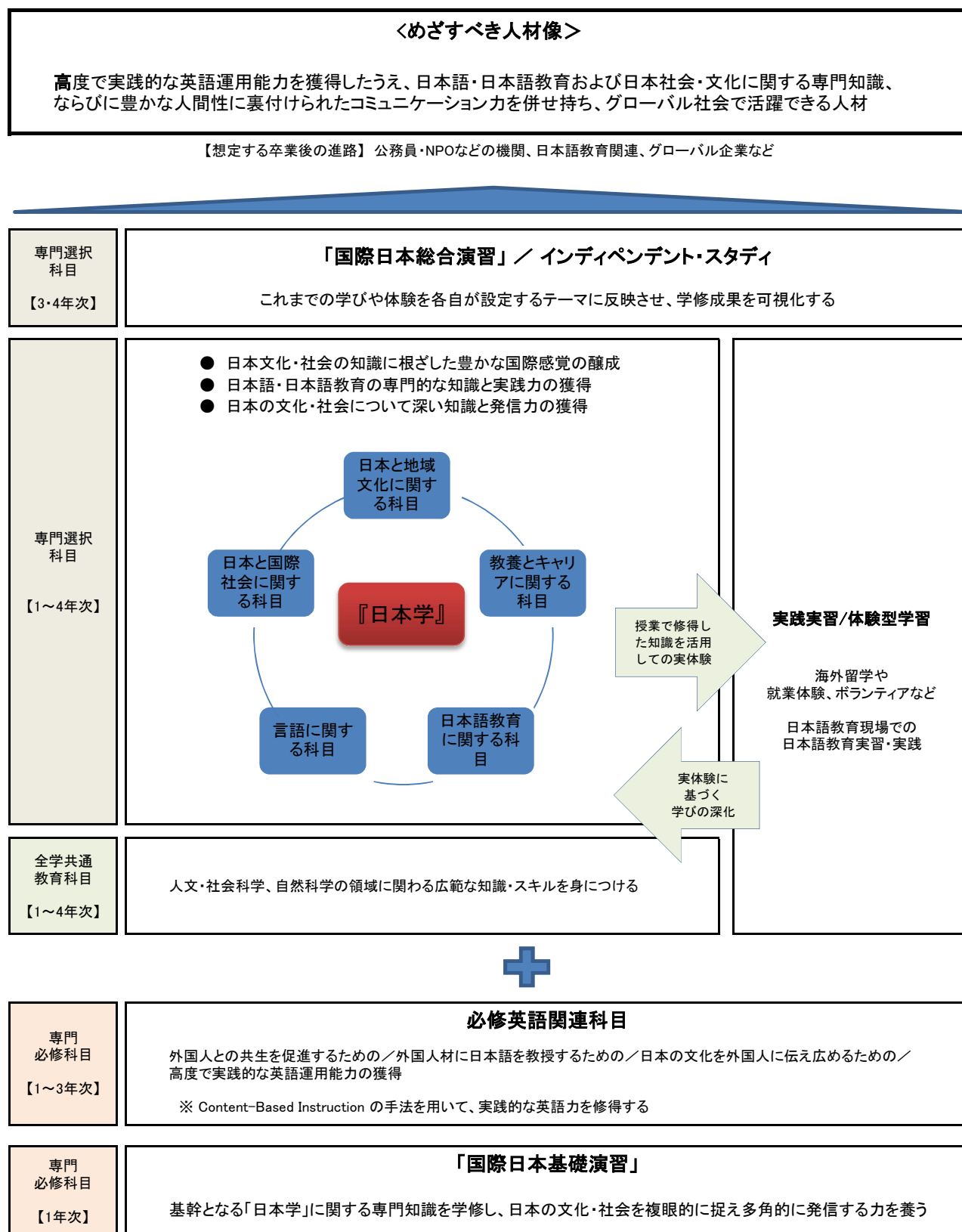
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4
専門必修科目	Introduction to Academic English	1前	2	◎			
	Essay Writing I	1後	2	◎			
	Essay Writing II	2前	2	◎			
	Essay Writing III	2後	2	◎			
	Academic Reading I	1前	4	◎			
	Academic Reading II	1後	4	◎			
	Academic Reading III	2前	4	◎			
	Academic Reading IV	2後	4	◎			
	Communication in English I	1前	2	◎			
	Communication in English II	1後	2	◎			
	Communication in English III	2前	2	◎			
	Communication in English IV	2後	2	◎			
	English Presentation and Discussion A	3前	4	◎			
	English Presentation and Discussion B	3後	4	◎			
	国際日本基礎演習 I	1前	2	◎	○		
	国際日本基礎演習 II	1後	2	◎	○		
専門選択科目	国際日本文化論	1前・後	4		◎	○	
	日本文化史	1前・後	4		◎	○	
	日本の現代文化	2前・後	4		◎	○	
	日本の伝統文化	3前・後	4		◎	○	
	地域研究（北アメリカ）	2前・後	4		◎		
	地域研究（ヨーロッパ）	2前・後	4		◎		
	地域研究（アジア）	2前・後	4		◎		
	比較文化研究	3前・後	4		◎	○	
	多文化共生	3前・後	4		◎	○	
	社会学	1前・後	4		○		
	政治学	1前・後	4		○		
	経済学	1前・後	4		○		
	法学	1前・後	4		○		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4
専門 選択 科目	国際関係 A	1前・後	4		○		
	国際関係 B	2前・後	4		○		
	国際政治経済論	2前・後	4		○		
	ツーリズム・マネジメント	1前・後	4			○	
	日本語学研究 A	1前・後	4	◎			
	日本語学研究 B	2前・後	4	◎			
	音声学特殊講義	3前・後	4	◎			
	言語学研究 A	1前・後	4	◎			
	言語学研究 B	1前・後	4	◎			
	言語学研究 C	1前・後	4	◎			
	言語分析	2前・後	4	◎			
	英検演習（準1級）	1前・後	2	◎			
	英検演習（1級）	1前・後	2	◎			
	TOEFL演習 I	1前・後	2	◎			
	TOEFL演習 II	1前・後	2	◎			
	TOEIC演習 I	2前・後	2	◎			
	TOEIC演習 II	2前・後	2	◎			
	心理学	3前・後	4		○		
	教育心理学	1前・後	2		○		
	教職概論	1前	2		○		
	教育制度概論	2前・後	2		○		
	教育方法の理論と実践	3後	2		○		
	生徒・進路指導論	3前・後	2		○		
	渡日外国人児童教育	3前・後	2		○		
	教育相談	2前・後	2		○		
	日本語教授法 A	2前・後	4		○		
	日本語教授法 B	2前・後	4		○		
	日本語教育実習	4後	2	◎	○		
	日本語教育実習演習	4後	2	◎	○		
	日本語教育実践実習 A	3前・後	2	◎	○		
	日本語教育実践実習 B	3前・後	2	◎	○		
	デジタルリテラシー	1通	2		○	○	
	キャリアデザイン	1前・後	2		○		
	キャリア形成	2前・後	2		○		
	国際教養 A	2・3・4前・後	4		○		◎
	国際教養 B	2・3・4前・後	4		○		◎
	国際教養 C	2・3・4前・後	4		○		◎
	国際教養 D	2・3・4前・後	4		○		◎
	国際教養 E	2・3・4前・後	4		○		◎

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4
専門 選択 科目	国際教養 F	2・3・4前・後	4		○		◎
	国際日本総合演習 I	3前	2		○	◎	
	国際日本総合演習 II	3後	2		○	◎	
	インディペンデント・スタディ I	4前	2		○	◎	
	インディペンデント・スタディ II	4後	2		○	◎	
全学 共通 教育 科目	哲学	1前	4		○		
	人権問題論	3後	4		○		
	グローバル・アース	2後	4		○		
	数学	2前	4		○		
	文学	1前	4		○		
	総合科目 A	3前	4		○		
	総合科目 B	3後	4		○		
	総合科目 C	3前	4		○		
	総合科目 D	3後	4		○		
	総合科目 E	3前	4		○		
	総合科目 F	1前	2		○		
	総合科目 G	1後	2		○		
	総合科目 H	1前	2		○		
	総合科目 I	1後	2		○		
	スポーツ健康科学	3前・後	2				○
	スペイン語 I	2前	2		○		
	スペイン語 II	2後	2		○		
	中国語 I	2前	2		○		
	中国語 II	2後	2		○		
	中国語 III	2後	2		○		
	フランス語 I	2前	2		○		
	フランス語 II	2後	2		○		
	ドイツ語 I	2前	2		○		
	ドイツ語 II	2後	2		○		
	イタリア語 I	2前	2		○		
	イタリア語 II	2後	2		○		
	ハングル I	2前	2		○		
	ハングル II	2後	2		○		
	ロシア語	2前	2		○		
	ポルトガル語	2後	2		○		
	デンマーク語	2前	2		○		
	スウェーデン語	2後	2		○		
	ハンガリー語	2前	2		○		
	フィンランド語	2休	2		○		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4
全学 共通 教育 科目	アラビア語	2前	2		○		
	ラテン語	2後	2		○		
	就業体験実習 A	2・3・4前・後	2				◎
	就業体験実習 B	2・3・4前・後	2				◎
	就業体験実習 C	2・3・4前・後	2				◎
	就業体験実習 D	2・3・4前・後	2				◎
	就業体験実習 E	2・3・4前・後	1				◎
	ボランティア実習 A	2・3・4前・後	2				◎
	ボランティア実習 B	2・3・4前・後	2				◎
	ボランティア実習 C	2・3・4前・後	2				◎
	ボランティア実習 D	2・3・4前・後	2				◎
	ボランティア実習 E	2・3・4前・後	1				◎

国際日本学科 教育課程構成図



【資料 9】履修モデル

① 公務員・NPOなどへの進路を志望する履修モデル（地域コミュニティなどにおいて外国人材の支援などに携わる人材）

〔卒業後の進路〕 国家公務員、地方公務員、NPO職員など

科目 区分	1年次				2年次				3年次				4年次				修得 単位数
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		
専 門 教 育 科 目	Introduction to Academic English ◎	2	Essay Writing I ◎	2	Essay Writing II ◎	2	Essay Writing III ◎	2	English Presentaition and Discussion A ◎	4	English Presentaition and Discussion B ◎	4					44
	Academic Reading I ◎	4	Academic Reading II ◎	4	Academic Reading III ◎	4	Academic Reading IV ◎	4									
	Communication in English I ◎	2	Communication in English II ◎	2	Communication in English III ◎	2	Communication in English IV ◎	2									
	国際日本基礎演習 I ◎	2	国際日本基礎演習 II ◎	2													
	法学	4	経済学	4	政治学	4	社会学	4	多文化共生	4	教育相談	2					56
	国際関係 A	4			地域研究（北アメリ カ）	4	地域研究（ヨーロッ パ）	4	渡日外国人児童教育	2	英検演習(準1級)	2					
	デジタルリテラシー	2	キャリアデザイン	2	地域研究（アジア）	4	キャリア形成	2									
									国際日本総合演習 I	2	国際日本総合演習 II	2	インディペンデント・スタ ディ I	2	インディペンデント・スタ ディ II	2	
全 学 共 通 教 育 科 目	総合科目 F	2	哲学	4			ボランティア実習A	2	人権問題論	4	総合科目 C	4	総合科目 A	4			24
									就業体験実習 A	2	就業体験実習 B	2					
単 修 位 数 得	22		20		20		20		18		16		6		2		124

② 日本語教育関連への進路を志望する履修モデル

〔卒業後の進路〕 日本語学校、専門学校の教育機関など

科目 区分	1年次				2年次				3年次				4年次				修得 単位数	
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期			
専門 教育 科目	Introduction to Academic English ◎	2	Essay Writing I ◎	2	Essay Writing II ◎	2	Essay Writing III ◎	2	English Presentaition and Discussion A ◎	4	English Presentaition and Discussion B ◎	4					44	
	Academic Reading I ◎	4	Academic Reading II ◎	4	Academic Reading III ◎	4	Academic Reading IV ◎	4										
	Communication in English I ◎	2	Communication in English II ◎	2	Communication in English III ◎	2	Communication in English IV ◎	2										
	国際日本基礎演習 I ◎	2	国際日本基礎演習 II ◎	2														
	言語学研究 A	4	言語学研究 B	4	言語学研究 C	4	言語分析	4	教育心理学	2							60	
	日本語学研究 A	4	日本文化史	4	日本語学研究 B	4			渡日外国人児童教育	2								
	社会学	4			日本語教授法 A	4	日本語教授法 B	4	生徒・進路指導論	2	教育方法の理論と実践	2						
					教育制度論	2	教育相談	2										
									日本語教育実践実習 A	2	日本語教育実践実習 B	2	日本語教育実習	2	日本語教育実習演習	2		
全学 共通 教育 科目	総合科目 F	2	文学	4	中国語 I	2	中国語 II	2	中国語 III	2	人権問題論	4					20	
									総合科目 C	4								
単 修 位 数 得	24		22		24		20		18		12		2		2		124	

③ グローバル企業などへの進路を志望する履修モデル

〔卒業後の進路〕海外展開の日本企業、外資系企業のグローバル企業など

科目 区分	1年次				2年次				3年次				4年次				修得 単位数
	春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		春学期		秋学期		
専 門 教 育 科 目	Introduction to Academic English ◎	2	Essay Writing I ◎	2	Essay Writing II ◎	2	Essay Writing III ◎	2	English Presentaition and Discussion A ◎	4	English Presentaition and Discussion B ◎	4					44
	Academic Reading I ◎	4	Academic Reading II ◎	4	Academic Reading III ◎	4	Academic Reading IV ◎	4									
	Communication in English I ◎	2	Communication in English II ◎	2	Communication in English III ◎	2	Communication in English IV ◎	2									
	国際日本基礎演習 I ◎	2	国際日本基礎演習 II ◎	2													
	国際日本文化論	4	日本文化史	4	国際関係 B	4	日本の現代文化	4	日本の伝統文化	4	多文化共生	4					56
	経済学	4	国際関係 A	4			国際政治経済論	4	比較文化研究	4							
	政治学	4	キャリアデザイン	2	キャリア形成	2											
									国際日本総合演習 I	2	国際日本総合演習 II	2	インディペンデント・スタ ディ I	2	インディペンデント・スタ ディ II	2	
全 学 共 通 教 育 科 目					スペイン語 I	2	スペイン語 II	2	総合研究 E	4	総合科目 B	4					24
					数学	4	グローバル・アース	4			スポーツ健康科学	2					
							就業体験実習 A	2	就業体験実習 B	2							
単 修 位 数 得	22		20		20		24		20		16		2		2		124

2022年度 企業実習先一覧

No.	受入先(正式名称・通称)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
1	株式会社アーク・スリー・インターナショナル	旅行業	大阪府	2
2	株式会社I.S.コンサルティング	その他(インターンシップ業)	兵庫県	8
3	ICS関西	団体	大阪府	6
4	青山商事株式会社	小売業	広島県	2
5	イオンフィナンシャルサービス株式会社	金融業	東京都	4
6	株式会社内田洋行	商社	大阪府	1
7	株式会社HRO ハイアットリージェンシー大阪	ホテル	大阪府	5
8	株式会社ANA総合研究所(ANA関西空港株式会社)	航空業	大阪府	15
9	株式会社ANA総合研究所(ANA中部空港株式会社)	航空業	愛知県	50
10	株式会社ANA総合研究所(ANA成田エアポートサービス株式会社)	航空業	千葉県	10
11	SMBC日興証券株式会社	金融業	大阪府	9
12	合同会社エス・ホテルオペレーションズ京都堀川 メルキュール京都ステーション	ホテル	京都府	2
13	株式会社 エンジェルリゾートグループ小豆島 小豆島国際ホテル・ベイリゾートホテル小豆島	ホテル	香川県	8
14	公益財団法人 大阪国際交流センター	団体	大阪府	9
15	株式会社カース・キャリアセンター	その他(広告代理業)	大阪府	6
16	金井ホールディングス株式会社	メーカー	大阪府	1
17	カワソーテクセル株式会社	メーカー	大阪府	2
18	株式会社関西マツダ	小売業	大阪府	4
19	北おおさか信用金庫	金融業	大阪府	1
20	木村情報技術株式会社	その他(IT・情報サービス)	愛知県	1
21	協同組合関西ファッション連合(KanFA)	団体	大阪府	2
22	公益財団法人 京都市国際交流協会	団体	京都府	2
23	京都中央信用金庫	金融業	京都府	1
24	京都日産自動車株式会社	小売業	京都府	2
25	株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル 京都八条	ホテル	京都府	2
26	株式会社近鉄・都ホテルズ ホテル近鉄ユニバーサル・シティ	ホテル	大阪府	6
27	サンフロンティアホテルマネジメント株式会社	ホテル	東京都	2
28	GHS株式会社 大阪ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル大阪	ホテル	大阪府	10
29	株式会社志摩スペイン村	サービス	三重県	3
30	株式会社JALスカイ大阪	航空業	大阪府	2
31	株式会社SYNTH	その他(レンタルオフィス)	大阪府	8
32	スタイルム瀧定大阪株式会社	商社	大阪府	2
33	株式会社スタジオアリス	サービス	東京都	4
34	セイハネットワーク株式会社関西統括本部	サービス	大阪府	6
35	株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド ザ・プリンス 京都宝ヶ池	ホテル	京都府	1
36	ダイコロ株式会社	メーカー	大阪府	2
37	株式会社大伸社ディライト	その他(デザイン業)	大阪府	2
38	大成建設株式会社 関西支店	建設・不動産業	大阪府	1
39	大東住建株式会社	建設・不動産業	大阪府	4
40	大東土地株式会社	建設・不動産業	大阪府	4
41	高見株式会社TAKAMI BRIDAL	サービス	京都府	6
42	公益財団法人 徳島県国際交流協会	団体	徳島県	2
43	とさでん交通株式会社	航空業	高知県	2
44	ナビオコンピュータ株式会社大阪本社	その他(IT・情報サービス)	大阪府	1
45	株式会社西村屋	ホテル(観光旅館)	兵庫県	4
46	ニセコビレッジ株式会社 HILTON NISEKO VILLAGE	ホテル	北海道	6
47	株式会社日興商会	商社	兵庫県	1
48	株式会社ニュー・オータニ ホテルニューオータニ大阪	ホテル	大阪府	5
49	ネットヨタ大阪株式会社	小売業	大阪府	1
50	ハイアットリソースキャピタルジャパン合同会社 パークハイアット 京都	ホテル	京都府	4
51	株式会社ハヤシゴ	商社	大阪府	2

No.	受入先(正式名称・通称)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
52	株式会社阪急オアシス	小売業	大阪府	3
53	株式会社阪神ホテルシステムズ ザ・リッツ・カールトン大阪	ホテル	大阪府	5
54	株式会社東山ホールディング ハイアットリージェンシー京都	ホテル	京都府	2
55	東山産業株式会社京都事業所	その他(物品賃貸)	東京都	1
56	特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議	団体	大阪府	6
57	枚方市役所	公務	大阪府	2
58	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社	物流・運輸業	大阪府	4
59	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社	物流・運輸業	東京都	3
60	不二商事株式会社	小売業	大阪府	6
61	株式会社ベアフォスターホールディングス	その他(IT・情報サービス)	大阪府	14
62	株式会社ボーダーリンク	サービス	大阪府	4
63	株式会社ホスピタリティオペレーションズ スマイルホテル大阪中之島	ホテル	東京都	2
64	株式会社ホスピタリティオペレーションズ スマイルホテル京都四条	ホテル	東京都	1
65	株式会社ホテルグランヴィア大阪 ホテルグランヴィア大阪	ホテル	大阪府	2
66	株式会社ホテル京阪マネジメント ホテル京阪 京都グランデ・京都駅南	ホテル	大阪府	3
67	株式会社ホテル京阪マネジメント ホテル京阪 ユニバーサルタワー	ホテル	大阪府	2
68	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ大阪	ホテル	大阪府	2
69	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ京都	ホテル	大阪府	2
70	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ グラスミア大阪	ホテル	大阪府	9
71	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ ラ・スール大阪	ホテル	大阪府	2
72	株式会社ホライズン・ホテルズ(博多ホテル事業所) ANAクラウンプラザホテル福岡	ホテル	福岡県	1
73	株式会社ホンダカーズ兵庫	小売業	兵庫県	6
74	株式会社まなれぼ	その他(コワーキングスペース)	大阪府	10
75	丸三証券株式会社	金融業	東京都	3
76	マルホ発條工業株式会社	メーカー	京都府	1
77	公益財団法人 三重県国際交流財団	団体	三重県	1
78	名鉄観光サービス株式会社	旅行業	京都府	2
79	株式会社新神戸ホールディング ANAクラウンプラザホテル神戸	ホテル	兵庫県	4
80	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 コートヤード・パイ・マリオット 新大阪ステーション	ホテル	大阪府	6
81	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 翠嵐 ラグジュアリーコレクションホテル 京都	ホテル	京都府	3
82	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 南紀白浜マリオットホテル	ホテル	和歌山県	10
83	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖マリオットホテル	ホテル	滋賀県	6
84	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 富士マリオットホテル山中湖	ホテル	山梨県	4
85	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 ラフォーレリゾート修善寺	ホテル	静岡県	20
86	吉川運輸株式会社(吉川ロジスティクスグループ)	物流・運輸業	大阪府	2
87	レーキサイドホテルシステムズ株式会社 ザ・リッツ・カールトン日光	ホテル	栃木県	3
88	株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ	ホテル	大阪府	4
89	渡辺パイプ株式会社	商社	大阪府	1
受入可能人数 計				408

日本語教育実践実習に関する覚書

学校法人関西外国語大学（以下「甲」という。）と一般財団法人日生日本語学園（以下「乙」という。）は、乙が実施する日本語教育（以下「本プログラム」という。）に対して、甲の派遣する学生（以下「実習生」という。）を受け入れることについて合意し、次のとおり覚書を締結する。

1. 目的

本覚書は、本プログラムを甲乙が提携・協力して実施することにより、実習生に対する教育支援の一助とすることを目的とする。

2. 誓約書の提出

実習生は、本プログラムの開始に先立ち、乙に対し「誓約書」を提出する。甲は、本プログラム開始前に誓約書の内容を遵守するよう学生を指導する。

3. 個人情報の提供

乙は甲に対し、本プログラムを実施するために必要な実習生の個人情報の提供を求めることができる。

4. 個人情報の管理

乙は甲から提供を受けた個人情報について、法律に則って適切に管理しなければならない。また、これらの個人情報を、本人の同意なく第三者に提供したり、本プログラム実施以外の目的に使用してはならない。

5. 実習生の守秘義務

甲は実習生に対し、本プログラム実施期間中に知り得た乙の内部事情や機密事項について、期間中はもとより実施期間終了後も、乙以外の第三者に開示または漏洩しないことを指導し、遵守させる。

6. 実習条件等

（1）実習生、実施期間、実習内容、実習場所等、本プログラムの詳細については、別途「募集要項」及び「受入依頼書」にて定める。

（2）乙は実習生に対し、本プログラム開始時に乙の概要と実習内容についての説明を行い、甲は、実習生が適宜乙の指導を受け、業務を体験することに同意する。実習内容は甲が乙に一任する。

（3）本覚書に反する行為があった場合は、甲乙どちらかの申し出により双方協議のうえで本プログラムを中止することができる。

（4）研修中の事故について、乙の故意・過失に基づくものでない限り乙は免責されるものとする。

（5）通勤途中の事故、災害については乙の責に帰さない。

7. 保険の加入と災害補償・損害賠償

（1）実習生は、本プログラムの開始に先立ち、実習中の災害、事故その他の事由による損害の補償に対応した災害傷害保険および賠償責任保険に加入するものとする。

（2）実習生が、故意または重大な過失により乙または関連の第三者に損害を与えた場合、当該実習生はその損害について賠償の責を負い、当該保険により損害をてん補するものとする。

8. 有効期間

本覚書の有効期間は、本プログラムの実施期間（乙が行う実習の開始日から終了日まで）とする。

但し、甲乙いずれかから申し出のない限り、同一条件にて次回の実施期間にも適用されるものとする。

9. 協議

この覚書に定めがない事項及びこの覚書に関して生じた疑義については、その都度、甲乙が誠意をもって協議し、解決するものとする。

この覚書の締結を証して本書 2 通を作成し、甲乙記名捺印の上、各々 1 通を所持する。

2023 年 4 月 6 日

甲 大阪府枚方市中宮東之町 1 6 - 1
学校法人関西外国語大学
国際日本学科長 柿木 重宜



〒544-0004 大阪市生野区巽北4丁目15番26号

乙 一般社団法人 日生日本語学園

理事長 吳 芳 守



学校法人関西外国語大学 職員就業規則（抜粋）

昭和 45 年 4 月 1 日施行
2022 年度改定第 6 号

第1章 総 則

（職員の定義等）

第 2 条 この規則において職員とは、定められた手続きにより採用された教育職員、事務職員および労務職員をいう。

第 3 章 人 事

第 4 節 退職・解雇

（定 年）

第 23 条 職員の定年は次のとおりとし、定年退職日に当然に雇用契約が終了するものとする。

(1) 教育職員 満 65 歳

満年齢に達した日の属する学年の末日を定年退職日とする。

学校法人関西外国語大学 再採用教員内規（抜粋）

昭和 53 年 4 月 1 日施行
平成 29 年度改定第 8 号

（趣 旨）

第 1 条 本学で定年年齢に達した教育職員を新たに再採用教員として任用する場合は、この内規の定めるところによる。

（任 用）

第 2 条 再採用教員の任用は、下記に該当する者のうちより、理事会の審議を経て理事長が決定する。

- (1) 大学院指導教授
- (2) 定年時に教員役職に在る者
- (3) 理事長が本学の業務運営上必要と認めた者

（任用期間）

第 3 条 再採用教員の任用期間は 1 年とする。

- (1) 理事長が本学の業務運営上特に必要があると認めたときは、本項の任用期間を更新することができる。
- (2) 更新は個人別に 1 年ごとに可否を検討し、更新する場合は文書でこれを通知する。

本学部関連の分類別蔵書数

(単位:冊)

	和書	洋書	合計	分類別比
総記	17,957	29,569	47,526	10.4%
哲学	17,504	7,535	25,039	5.5%
歴史	32,879	13,675	46,554	10.2%
社会科学	76,846	25,278	102,124	22.4%
自然科学	13,885	1,920	15,805	3.5%
工学	6,853	1,871	8,724	1.9%
産業	6,209	1,680	7,889	1.7%
芸術	14,088	5,053	19,141	4.2%
語学	35,614	38,185	73,799	16.2%
文学	47,715	52,978	100,693	22.0%
製本雑誌	3,636	5,804	9,440	2.1%
(小計)	273,186	183,548	456,734	100.0%
教員長期貸出資料	59,894	67,979	127,873	-
合計	333,080	251,527	584,607	-
構成比	57.0%	43.0%	100.0%	-

本学部関連の蔵書数

1) 専門必修科目関連	31,701 冊
Introduction to Academic English	746
Essay Writing	322
Academic Reading	26,585
Communication in English	974
English Presentation and Discussion	63
国際日本基礎演習	3,011
2) 専門選択科目関連	29,427 冊
国際日本文化論	1,128
日本の現代文化	990

日本の伝統文化	166
地域研究(北アメリカ)	95
地域研究(ヨーロッパ)	488
地域研究(アジア)	69
多文化共生	250
社会学	2,253
政治学	5,036
経済学	6,912
法学	2,007
国際関係	456
ツーリズム・マネジメント	322
言語分析	3,134
英検演習	4
TOEFL 演習	1
TOEIC 演習	15
教育関係	4,174
デジタルリテラシー	416
キャリアデザイン	115
キャリア形成	335
国際教養	1062
合計	61,128 冊

本学部関連の所蔵雑誌タイトル

中 宮 洋雑誌

◆言語学

- 1 American journal of philology
- 2 American Philological Association newsletter
- 3 American speech
- 4 Analysis
- 5 Applied linguistics
- 6 Brain and language
- 7 CLS
- 8 Cognitive linguistics
- 9 Diachronica
- 10 Discourse processes
- 11 ELT journal
- 12 English journal
- 13 English linguistics
- 14 English studies
- 15 English teaching forum
- 16 English today
- 17 Essential teacher
- 18 Folia linguistica historica
- 19 General linguistics
- 20 Hispania
- 21 Hispanic review
- 22 Interdisciplinary journal for Germanic linguistics and semiotic analysis
- 23 International journal of American linguistics
- 24 International journal of lexicography
- 25 International review of applied linguistics in language teaching
- 26 JALT journal
- 27 Japan journal of multilingualism and multiculturalism
- 28 Journal of applied linguistics
- 29 Journal of East Asian linguistics
- 30 Journal of Japanese linguistics
- 31 Journal of linguistics
- 32 Journal of memory and language
- 33 Journal of phonetics
- 34 Journal of pragmatics
- 35 Journal of semantics
- 36 Language : journal of the Linguistic Society of America
- 37 Language and literature
- 38 Language and speech
- 39 Language arts
- 40 Language in society
- 41 Language learning
- 42 Language resources and evaluation
- 43 Language teaching
- 44 Lexicographica
- 45 Lingua
- 46 Linguistic analysis
- 47 Linguistic inquiry
- 48 Linguistica Uralica
- 49 Linguistics
- 50 Linguistics abstracts
- 51 Linguistics and philosophy
- 52 Literary & linguistic computing
- 53 MLN : modern language notes
- 54 Modern philology
- 55 Namn och bygd
- 56 Natural language & linguistic theory

- 57 Natural language semantics
- 58 Neuphilologische Mitteilungen
- 59 Nordic journal of linguistics
- 60 Philological quarterly
- 61 Phonetica
- 62 Phonology
- 63 Proceedings of the West Coast Conference on Formal Linguistics
- 64 Quarterly journal of speech
- 65 Research on language and social interaction
- 66 Review of English studies. New series
- 67 Romance philology
- 68 Studia neophilologica
- 69 Studies in philology
- 70 Studies in second language acquisition
- 71 TESOL quarterly
- 72 The language teacher
- 73 The Linguistic review
- 74 The Modern language journal
- 75 Transactions of the Philological Society
- 76 Tsukuba English studies
- 77 Word
- 78 Zeitschrift für romanische Philologie

◆社会科学

- 1 American journal of international law
- 2 American sociological review
- 3 Arbor
- 4 Contemporary sociology
- 5 Foreign affairs
- 6 Foreign policy
- 7 Human relations
- 8 International affairs
- 9 International organization
- 10 International relations of the Asia-Pacific
- 11 International security
- 12 Journal of social issues
- 13 New internationalist
- 14 Rural sociology
- 15 Social forces
- 16 Social issues and policy review
- 17 Social science history
- 18 Social science Japan journal
- 19 The American journal of sociology
- 20 The British journal of sociology
- 21 World politics

◆民族学

- 1 Acta ethnographica Hungarica
- 2 American anthropologist
- 3 American ethnologist
- 4 Anthropological science
- 5 Anthropology today
- 6 Current anthropology
- 7 Ethnic and racial studies
- 8 Journal of anthropological research
- 9 Man in India
- 10 Paideuma

- 11 The Eastern anthropologist
- 12 The journal of the Royal Anthropological Institute

◆歴史

- 1 East Asia
- 2 Eighteenth century
- 3 Eighteenth-century studies
- 4 Eurasian studies yearbook
- 5 Japan echo
- 6 Journal of Southeast Asian studies
- 7 Journal of the K.R. Cama Oriental Institute
- 8 Mediaeval studies
- 9 Speculum : a journal of mediaeval studies
- 10 The American historical review
- 11 The English historical review
- 12 The Hispanic American historical review

◆古典研究

- 1 The classical quarterly. New series
- 2 The Classical review. New series
- 3 Transactions of the American Philological Association

◆地域研究

- 1 Acta Asiatica
- 2 American studies
- 3 Américas
- 4 Asian ethnology
- 5 Asian survey
- 6 Critical Asian studies
- 7 Harvard journal of Asiatic studies
- 8 Japan close-up
- 9 Journal of American folklore
- 10 Journal of the American Oriental Society
- 11 Journal of the Oriental Institute
- 12 Kateigaho (international ed.)
- 13 Kyoto journal
- 14 Latino america
- 15 Monumenta Nipponica
- 16 Positions
- 17 Review of Japanese culture and society
- 18 Suomalais- Ugrilaisen Seuran toimituksia
- 19 The Atlantic
- 20 The Journal of Asian studies
- 21 The Journal of Indo-European studies
- 22 The journal of Japanese studies
- 23 The transactions of the Asiatic Society of Japan. Ser. 4
- 24 U.S.-Japan women's journal. English supplement
- 25 にっぽん (英語版)

◆文学

- 1 American literature
- 2 Asian theatre journal
- 3 Brontë studies
- 4 Bulletin of Spanish studies
- 5 Cervantes
- 6 Chaucer review
- 7 Comparative drama
- 8 Comparative literature

- 9 ELH : a journal of english literary history
- 10 Essays in criticism
- 11 Granta
- 12 JEGP : journal of English and Germanic philology
- 13 Latin American literary review
- 14 Medium ævum
- 15 Modern fiction studies
- 16 Neophilologus
- 17 Nineteenth-century literature
- 18 Notes and queries. New series
- 19 PMLA : publications of the Modern Language Association of America
- 20 Poetics
- 21 Shakespeare quarterly
- 22 Studies in English literature
- 23 Studies in English literature 1500-1900
- 24 T · L · S, the Times literary supplement
- 25 The drama review : TDR
- 26 Theatre notebook
- 27 Theatre survey
- 28 Twentieth century literature
- 29 World literature today

◆人文科学

- 1 American quarterly
- 2 Journal of the history of ideas

◆哲学/心理学

- 1 Analysis. New series
- 2 Japanese journal of religious studies
- 3 Japanese religions
- 4 Journal of applied psychology
- 5 Journal of religion in Africa
- 6 Journal of social psychology
- 7 Philosophy east and west
- 8 The eastern buddhist. New series
- 9 The Journal of philosophy
- 10 The journal of psychology

◆経済

- 1 Business week
- 2 California management review
- 3 Economic development and cultural change
- 4 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly
- 5 Fortune(Asia ed.)
- 6 Harvard business review
- 7 Japan company handbook
- 8 Journal of economic literature
- 9 Journal of world business
- 10 MIT Sloan management review
- 11 The American economic review
- 12 The economic journal
- 13 The economist
- 14 The Journal of economic perspectives
- 15 Econometrica
- 16 Japanese Economic Review
- 17 Journal of Finance
- 18 Journal of Money, Credit and Banking
- 19 Journal of Political Economy

- 20 Quarterly Journal of Economics
- 21 Review of Economic Studies
- 22 Review of Economics and Statistics
- 23 Strategic finance
- 24 Journal of management accounting research
- 25 Journal of international financial management & accounting

◆自然科学

- 1 Journal of field archaeology
- 2 National geographic

◆教育

- 1 College English
- 2 Communication education
- 3 Computers & education
- 4 Cross currents
- 5 Educational perspectives
- 6 Educational technology
- 7 Harvard educational review
- 8 Journal of educational technology systems
- 9 NEA today
- 10 Profession
- 11 Theory into practice

◆総合誌

- 1 New York
- 2 Newsweek
- 3 The spectator
- 4 Time
- 5 U.S. news & world report

御殿山 洋雑誌

◆言語学

- 1 American speech
- 2 Annual review of applied linguistics
- 3 Applied linguistics
- 4 Applied psycholinguistics
- 5 Deutsch als Fremdsprache
- 6 Deutsche Sprache
- 7 English : the magazine of the English Association
- 8 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly
- 9 English today
- 10 Fremdsprache Deutsch
- 11 Germanistik
- 12 International journal of corpus linguistics
- 13 International journal of the sociology of language
- 14 Interpreting
- 15 Journal of second language writing
- 16 Language learning
- 17 Language testing
- 18 The Modern language journal
- 19 Modern language quarterly
- 20 Newsletter
- 21 Revue des langues romanes
- 22 Second language research
- 23 Sprache im technischen Zeitalter
- 24 Sprachtypologie und Universalienforschung : STUF
- 25 Studies in second language acquisition
- 26 TESOL quarterly
- 27 Vital speeches of the day
- 28 Zeitschrift für germanistische Linguistik

◆社会科学

- 1 Foreign affairs
- 2 International relations of the Asia-Pacific
- 3 Millennium
- 4 New Internationalist
- 5 Nikkei Asian review
- 6 Review of international studies
- 7 JICA magazine
- 8 Japan review

◆民族学

- 1 Abstracts in anthropology
- 2 Annual Review of Anthropology

◆地域研究

- 1 AJ : Canada's Environmental voice
- 2 Ebisu
- 3 German life & letters. New series : a quarterly review
- 4 JAPAN magazin
- 5 にっぽん : discovering Japan

◆文学

- 1 Contemporary literature
- 2 Deutsche Vierteljahrsschrift für Literaturwissenschaft und Geistesgeschichte
- 3 ELH : a journal of english literary history

- 4 Euphorion : Zeitschrift für Literaturgeschichte
- 5 JEGP : journal of English and Germanic philology
- 6 Journal of literary semantics
- 7 Literatur und Kritik
- 8 Magazine littéraire
- 9 New literary history : a journal of theory and interpretation

◆人文科学

- 1 American quarterly
- 2 Digital scholarship in the humanities : DSH
- 3 Film quarterly
- 4 Merkur : deutsche Zeitschrift für europäisches Denken
- 5 Theater heute

◆哲学/心理学

- 1 The British journal of educational psychology
- 2 Cognitive psychology
- 3 Humor : international journal of humor research
- 4 Multivariate behavioral research
- 5 Psychological bulletin

◆経済

- 1 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly

◆自然科学

- 1 National geographic

◆教育

- 1 The German quarterly
- 2 NEA Today

◆総合誌

- 1 Elle à table
- 2 Harper's
- 3 L'Obs : nouvelle formule
- 4 Muze
- 5 Newsweek (International, Pacific ed.)
- 6 News-week (U.S.edition)
- 7 Phosphore
- 8 Reader's digest
- 9 Time : the weekly newsmagazine
- 10 Time : the weekly newsmagazine Asia ed
- 11 The United States news, world report
- 12 The Week

中宮 和雑誌

◆教育

- 1 異文化間教育
- 2 教育委員会月報
- 3 教員養成セミナー
- 4 教職課程
- 5 月刊高校教育
- 6 社会科教育
- 7 週刊教育資料
- 8 切抜き速報・教育版
- 9 教育音楽・小学校版
- 10 受験ジャーナル

◆経済

- 1 応用経済学研究
- 2 アジア経済
- 3 金融経済研究
- 4 証券アナリストジャーナル
- 5 地域経済総覧
- 6 日本EU学会年報
- 7 一橋ビジネスレビュー
- 8 フィナンシャル・レビュー
- 9 フォーリン・アフェアーズ・レポート
- 10 貿易と関税
- 11 企業会計
- 12 金融研究
- 13 経済セミナー
- 14 月刊金融ジャーナル
- 15 週刊東洋経済
- 16 日経ビジネス
- 17 ハーバードビジネスレビュー

◆語学

- 1 Aera English
- 2 アルク地球人ムック
- 3 英語コーパス研究
- 4 言語研究
- 5 日本語文法
- 6 ふらんす

- 7 英語教育
- 8 英語語法文法研究
- 9 語用論研究
- 10 社会言語科学
- 11 新英語教育
- 12 多聴多読マガジン
- 13 通訳・翻訳ジャーナル
- 14 日本語の研究
- 15 日本語学
- 16 日本語教育
- 17 日本認知言語学会論文集[CD-ROM版]
- 18 認知言語学研究
- 19 認知言語学論考
- 20 中国語学

◆産業

- 1 ていくおふ
- 2 放送研究と調査
- 3 月刊エーステージ
- 4 月刊エアライン
- 5 情報の科学と技術

◆自然科学

- 1 ナショナルジオグラフィック
- 2 Newton
- 3 科学
- 4 日経サイエンス

◆社会科学

- 1 国際人権
- 2 国際政治
- 3 国際法外交雑誌
- 4 ジュリスト
- 5 スペイン史研究
- 6 法律時報
- 7 ボランティア学研究
- 8 外交
- 9 国際安全保障

- 10 世界法年報
- 11 判例タイムズ
- 12 判例時報
- 13 文化人類学
- 14 平和研究
- 15 法学教室
- 16 労働判例
- 17 會計
- 18 勞政時報

◆人文科学

- 1 こころの科学
- 2 統合失調症のひろば
- 3 季刊考古学
- 4 月刊考古学ジャーナル
- 5 現代思想
- 6 古代學研究
- 7 思想
- 8 地理
- 9 部落解放
- 10 理想
- 11 図書館雑誌
- 12 学校図書館
- 13 図書館の学校

◆地域研究

- 1 アメリカ研究
- 2 イベロアメリカ研究
- 3 オーラ！アミーゴス
- 4 ラテン・アメリカ時報
- 5 国際開発ジャーナル
- 6 国際人流

◆文学

- 1 英文學研究
- 2 ユリイカ
- 3 新潮
- 4 日本文学
- 5 文体論研究

- 6 藝術新潮

◆総合誌

- 1 Newsがわかる
- 2 Newsweek 日本版
- 3 Hir@gana times
- 4 ヒューマンライツ
- 5 新聞ダイジェスト
- 6 世界
- 7 中央公論
- 8 悲劇喜劇
- 9 美術手帖
- 10 文藝春秋

御殿山 和雑誌

◆教育

- 1 開発教育
- 2 教育
- 3 教員養成セミナー
- 4 教職課程
- 5 文部科学 教育通信

◆経済

- 1 (週刊) エコノミスト
- 2 経済セミナー
- 3 JCC monthly
- 4 週刊東洋経済

◆語学

- 1 中国語文法研究
- 2 第二言語としての日本語の習得研究
- 3 英語教育
- 4 現代中国語研究
- 5 日本語学
- 6 新英語教育
- 7 通訳・翻訳ジャーナル

◆産業

- 1 (月刊) エアライン
- 2 (月刊) エアステージ

◆自然科学

- 1 Newton

◆社会科学

- 1 アステイオン
- 2 (月刊) 福祉
- 3 国際貿易
- 4 国際問題

◆人文科学

- 1 現代の図書館
- 2 であい; 全同教機関誌月刊「同和教育」

- 3 異文化コミュニケーション

- 4 LRGライブラリ・リソース・ガイド

- 5 日本の参考図書; 四季版

- 6 図書館雑誌

◆地域研究

- 1 中国文化
- 2 東アジア近代史
- 3 人民中国 (日本語版)
- 4 今日中国
- 5 東方学
- 6 東洋学研究
- 7 観光文化

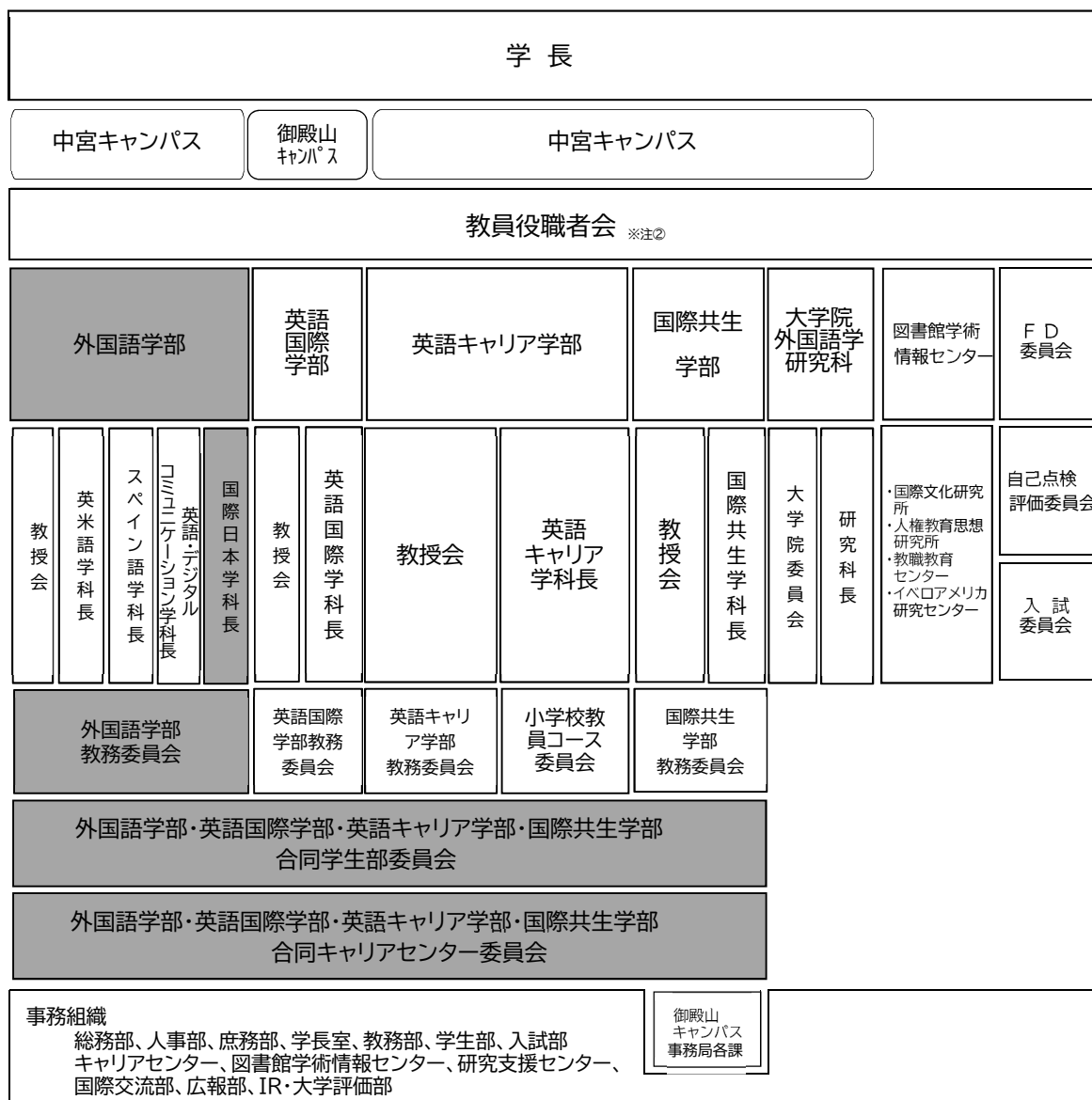
◆文学

- 1 中国現代文学

◆総合誌

- 1 美術フォーラム21
- 2 中央公論
- 3 Newsweek(日本語版)
- 4 世界

管理運営機構図

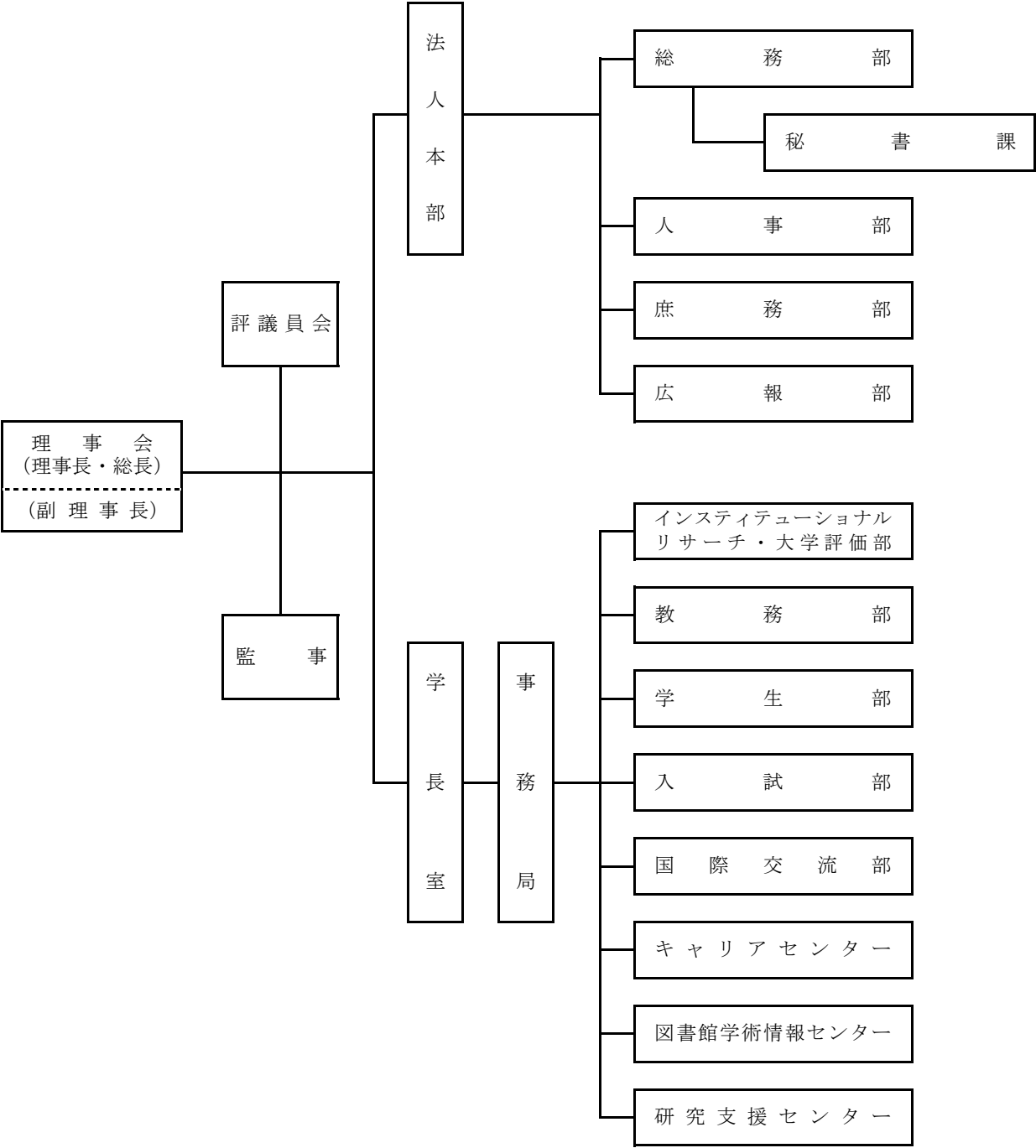


(注)① 網掛け部分が本学科に直接関連する組織。

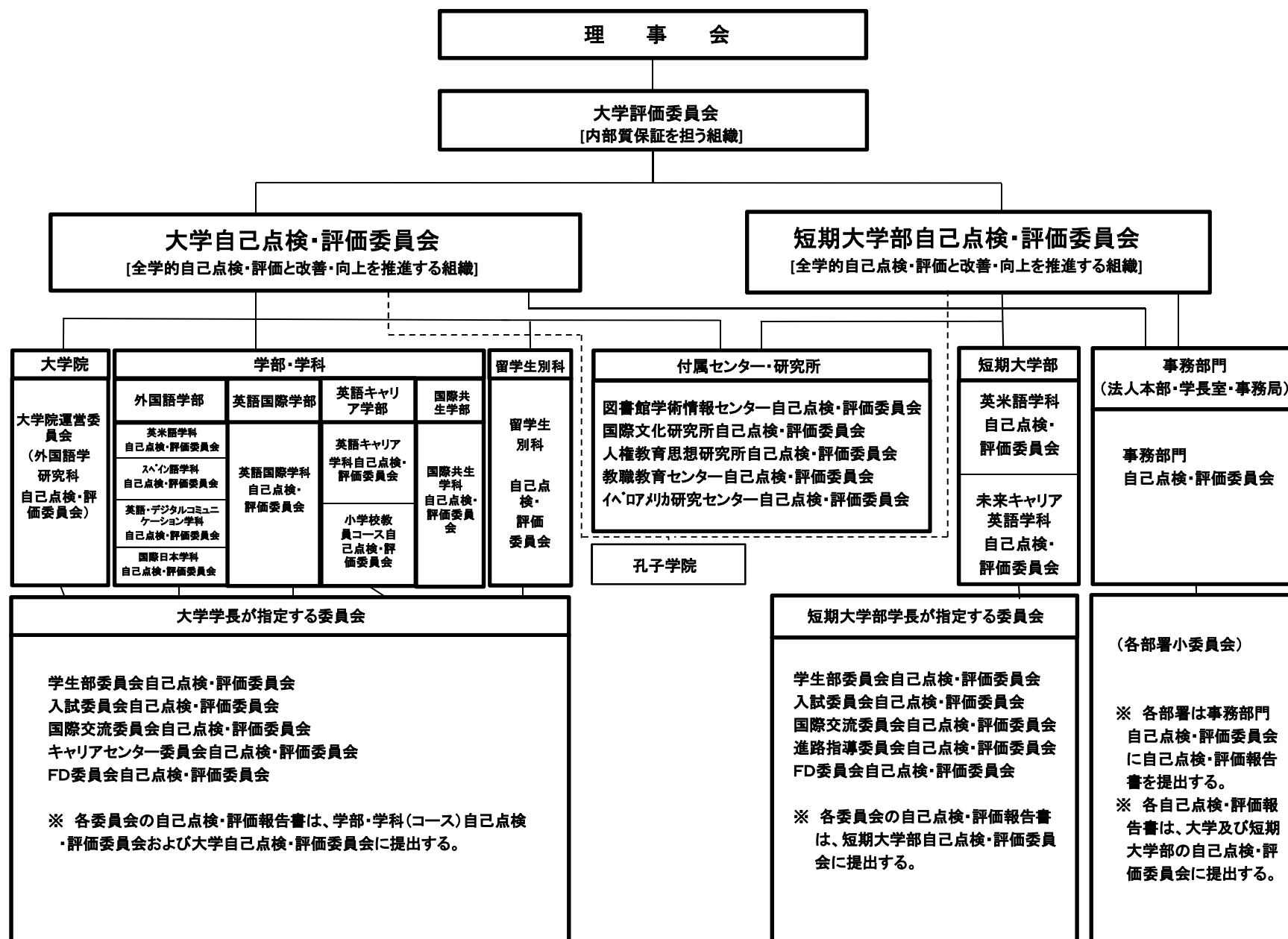
② 教員役職者会は、各学部間の教学に関する連絡調整機関。

学長、学部長、学科長、大学院研究科長、教務部長、学生部長、図書館学術情報センター所長、キャリアセンター所長、国際文化研究所長、教職教育センター所長、FD 委員長等の教員役職者で構成。

法人・大学事務組織機構図



学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図



関西外国語大学ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程

〔平成 20 年 4 月 1 日施行〕
〔平成 29 年度改定第 41 号〕

(趣旨)

第 1 条 この規程は、関西外国語大学学則第 5 条第 2 項の規定にもとづき、ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会 (以下「委員会」という) の運営に関し必要な事項を定める。

(所管事項)

第 2 条 委員会は次の各号に掲げる事項を所管する。

- (1) 教育内容および方法の改善のための方策に関する事項
- (2) 教育内容および方法にかかる研究会、研修会、シンポジウム等の企画運営に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、分析等に関する事項
- (4) 教員からの教育内容および方法の相談に関する事項
- (5) 教育内容および方法にかかる指導が必要な教員に関する事項
- (6) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動報告書等の作成に関する事項
- (7) 前各号のほか、教育内容および方法の改善に関する事項および学長が諮問する事項

(組織)

第 3 条 委員会は次の各号の委員をもって組織する。

- (1) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会委員長
 - (2) 教務部長
 - (3) 教育職員
 - (4) そのほか、学長が指名する職員
- 2 委員は学長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。
 - 4 委員に欠員が生じた場合の補充の委員の任期は、前項の規定にかかわらず前任者の残任期間とする。

(委員会の招集)

第 4 条 委員会は学長が招集する。

(委員長等)

第 5 条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長はファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会委員長とし、議長となる。

(議事)

第 6 条 委員会は委員の過半数の出席をもって成立する。

2 委員長は審議または実施の結果を学長に報告する。

(事務)

第 7 条 委員会の事務は、教務部が行う。

(雑則)

第 8 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は学長が指示する。

2 委員会は短期大学部ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会と協働することができる。

3 委員会は必要に応じて大学院委員会と協働することができる。

(改廃)

第 9 条 この規程の改廃は理事会が行う。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。(平成 20 年 2 月 23 日制定)

平成 23 年 4 月 1 日施行 (平成 23 年 2 月 19 日改定)

平成 27 年 4 月 1 日施行 (平成 27 年 3 月 14 日改定)

附 則

この規程の改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。(平成 30 年 3 月 30 日改定)

**学校法人 関西外国語大学
スタッフ・ディベロップメント(SD) 委員会規程**

〔平成 23 年 4 月 1 日施行〕
〔2021 年度改定第 38 号〕

(目的)

第 1 条 この規程は、教育職員および事務職員（以下「職員」という）等を対象として、学校法人関西外国語大学スタッフ・ディベロップメントの実施に関する方針（以下「実施方針」という）に掲げる目的等を実現するために設置するスタッフ・ディベロップメント(SD)委員会（以下「委員会」という）に関し、必要事項を定める。

(任務)

第 2 条 委員会はSD活動が継続して行われるために、次の事項について審議するとともに推進のための具体的方策を決定する。

- (1) 実施方針に掲げる研修等に関する事項
- (2) 学生の学習支援のための基本方針と実施体制に関する事項
- (3) 部門単位での業務改善目標の設定と結果の分析に関する事項
- (4) 審議および決定した内容について学内で告知徹底するための具体的方策に関する事項
- (5) その他、委員会が必要と認めた事項

(構成)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 事務局長
- (2) 総務部長
- (3) 理事長が委嘱する職員

(委員長および副委員長)

第 4 条 委員長は、事務局長とする。

- 2 委員長に事故あるときは、その職務を代行する副委員長を置くことができる。
- 3 副委員長は、委員長が指名する。

(会議)

第 5 条 委員会は、必要に応じて委員長が随時招集する。ただし、委員 2 名以上の要請があった場合、委員長はこれを招集しなければならない。

- 2 議長は、委員長があたる。委員長に事故あるときは、委員長が指名する者が議長を代行する。
- 3 委員会は、教職協働を推進するために関西外国語大学および関西外国語大学短期大学部FD委員会と合同で開催することができる。
- 4 委員会は、必要に応じてオブザーバーとして委員以外の職員の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(任期)

第 6 条 第 3 条第 1 項第 3 号に定める委員の任期は 2 年とする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

(事務取扱)

第 7 条 委員会の事務は、委員の中から委員長が指名する者をもってあてる。

(規程の改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、理事会が行う。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 23 年 2 月 19 日制定)

平成 25 年 4 月 1 日施行 (平成 25 年 3 月 9 日改定)

平成 30 年 4 月 1 日施行 (平成 30 年 3 月 30 日改定)

附 則

この規程の改正は、2022 年 4 月 1 日から施行する。(2022 年 3 月 26 日改定)